

## ☆ 雪エネルギー

雪エネルギーとは、冬季の降雪を貯蔵しておき、春から先に利用するもので、最近では山形県や新潟県などではこの試みが行われ、農作物の貯蔵や冷房などに利用されています。

## ☆ ハイブリッド車（HB）

ガソリンエンジンなどと電気モーターの2つの動力源を組み合わせる自動車で、ガソリン車に比べ燃費は向上し、二酸化炭素の排出量は1/2以下のものがあります。市内では数十台程が走行、市では寄贈された2台を市長車などに使用しています。

最近、当初に比べ全面改良され、少ない燃料で長距離を走行し、環境へのやさしさと高出力を両立させたものも市販され、実用車に近づいたと言われていています。なお、(財)日本自動車研究所には自家用車を対象に従来型との価格差の1/2以内を補助する制度があります。

## ☆ LPガス車（LPG）

昭和38年頃から国内タクシーの燃料はコストの安いLPガス車に切り替え始め、化石燃料の中でも二酸化炭素の発生量の少ないクリーンな排ガスのLPガス車が街中を走行するようになりました。また、NOxはディーゼル車に比べ10～30%に抑制でき、黒煙の排出はまったくありません。

市内には、昭和44年からLPガススタンドがあることから、タクシーだけでなく教習所や燃料販売業者などで100台程の乗用車や商用車に導入しています。また、県内では天然ガススタンドは1箇所ですが、LPガススタンドは43箇所あり、LPガス車は実用的と言え、市では16年度に導入を予定しています。なお、日本LPガス協会にはディーゼル車のバン・トラックなどをLPガス車に転換する場合に従来型との価格差の1/2を補助する制度があります。



## ☆ バイオディーゼル車（BDF）

家庭の天ぷら油やファーストフード店の食用廃油を原料としたバイオディーゼル油を軽油代替え燃料にしたトラックが、松本市内などを走行しています。軽油に比べ、排気ガス中の二酸化炭素や黒煙の排出量が削減され、休耕田を活用し栽培した菜種油も有効です。

## 3 今後の市内における導入

「岡谷市環境基本計画」に基づき、市民、事業者、市が連携して様々な取り組みを今後一層進めていくことにより、わたくしたち市民一人ひとりの日常生活と密接にかかわりのある、地球温暖化防止対策をより具体的に推進していくために、市では公共施設の新改築等に併せ、取り組み可能な新エネルギーの導入を検討し、環境保全を進めていきます。

また、温暖化防止だけでなく住宅では家計費、店舗や事業所などでは事業費の節約にもつながる新エネルギーの導入を促すこととします。